

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : ブリティッシュコロンビア大学

留学期間 : 平成 27 年 9 月 5 日 ~ 平成 28 年 4 月 25 日

私は、大学の夏期長期留学プログラムに参加し、昨年の 9 月初旬から今年の 4 月 25 日までの約 8 ヶ月間、カナダ・バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学に留学していた。

私が留学を通して学んだことは、まさに「外国から見た日本」と「異文化」である。私は、留学中に「環太平洋研究」という科目を履修していた。この授業では、名前の通り、環太平洋地域の国々を、歴史や経済、国際関係などの様々な観点から学習したのだが、授業では度々、戦後のアジアにおけるリーダー国として、「日本」が挙げられていた。特に、およそ 1960 年代からの日本における高度経済成長はその一例であり、それは日本だけでなく、韓国やシンガポール、そして中国などの他のアジアの国々の経済発展までもたらしたということも外国の視点から学習した。また、「カナダ研究入門」という科目では、カナダにおける先住民である「ファーストネーション」に対する差別問題だけでなく、「インターメントキャンプ」という、戦時中にカナダ政府が日系人に対して行った差別的な強制移住についても深く学ぶことができた。私は、留学中、これらのような日本に関する科目を学ぶ際にも、それまで読んだことや見たことのなかった文献や統計、図表に触れることができ、初めて学ぶことはもちろんのこと、以前に大学で学んだことのあった知識もより深めることができた。また、外国で、様々なアングルから日本を捉えられたことは、これからの日本での学びに活かすことができると確信している。加えて、「外国から見た日本」や「異文化」というのは、上記で述べたような学問的なことだけでなく、日常生活においてもそれを学べた場面が多々あった。例えば、私は、カナダ人やインド人、ロシア人などの外国人 5 人とルームシェアをして生活していたのだが、入浴・睡眠時間や振る舞いなどの、日本人にとって当たり前のことが、彼らにとっては珍しく、逆に私にとっても、彼らの行動にはしばしば驚かされた。また、私は留学中、「バンクーバー朝日軍」という野球チームの学生コーチとして、毎週末日系カナダ人を中心とするカナダ人の子供たちに、英語を交えながら野球を教えていた。私は、そこでも、日本とは全く違う練習方法やプレースタイルにとっても驚かされ、当初は戸惑いを感じるほどであった。どちらかが良いというわけではないが、私は、日本のような厳しい上下関係や敬語がなく、いつも元気に気軽に話しかけてくれたその子供たちにより親しみを感じられた。そして、バンクーバー、特にブリティッシュコロンビア大学は、まさに多文化・多言語の象徴といっても過言ではない場所であり、私は日常的にそれらを肌で直接感じることもできた。例えば、私は、ブリティッシュコロンビア大学の正規科目である、「ラテンアメリカ文化研究」という科目を受講していたのだが、そこでは、ディスカッションに重きを置いた生徒主体の授業や、他の外国人生徒とのグループプレゼンテーションを経験することができた。また、その授業では、日本人が私一人であり、「日本はどうなの？」と先生や生徒から質問されることが度々あったため、異文化に直接触れて学べただけでなく、日本により興味を持ち、帰国後からの大学での学びにより意欲を刺激することができた良い機会でもあった。これらのように、私は、カナダ留学を通して、「異文化」を直接肌で感じて学

んだと同時に、「日本」という国を違った視点からもう一度見つめ直したり、異文化と比べたりすることで、「日本人」であることにより誇りを持てるようになった。また、当然かもしれないが、私は、留学を通して英語のスキルを今までより向上させることができたため、そのスキルを維持・発展させ、日本に留学している外国人に対しても積極的にコミュニケーションをとっていきたい。そして、英語の文献を用いるなど、その英語力を活かして、これからの日本での学びをより深めていきたいと思っている。

最後に、私が現在、出発前にやっておけばよかったなと後悔していることは、英語の文献に慣れておくことである。留学先の大学の授業では、私が留学前に想像していた数倍もの量の英語の文献を毎回の授業前までに読んで予習しなければならなかったため、当初はとても苦労した。同時に、留学前に日本でもっと英語の文献に触れておくべきだったなと後悔したため、これから留学に行かれる方々はそのことを心に留めておいてほしい。また、留学前、日本に留学している外国人留学生とコミュニケーションを十分にとっていなかったことも後悔している。彼らとコミュニケーションをとることは、日本に居ながら英語のスピーキング・リスニングの実践練習ができる絶好の機会であり、留学してからの外国人とのコミュニケーションもより容易にしてくれるだろう。そのため、これから留学に行かれる方々は、自分の周りに散らばっているその絶好のチャンスを逃さず、十分に活かしてほしい。これらが私のこれから留学する人に向けたアドバイスである。